



全力投球で 成長の学期に

1学期は、多くの行事が中止や延期になってしまいました。2学期も、運動会、研修旅行、新人戦、文化発表会と多くの行事が予定されています。2学期は、予定されている行事はすべてやっていきたいと思っています。ただ、事態がどのように変わるかはわかりません。中止になっても仕方がないという覚悟で、準備を進めていくつもりです。中止になってもいいから準備を進める、私のこの気持ちを後押ししてくれているのが、朝、駅伝練習をしている選手達です。

今朝も、駅伝の練習が行われていました。1学期に予定されていた地区中駅伝大会は中止になりました。ただ、全国大会をするかしないかがまだ分からないため、予選を兼ねた県大会があるかないかもわかっていません（県中駅伝大会があれば、今年は予選がなく自由に出場することができます）。「全国大会が行われることが決定されれば県中駅伝大会も行われる」という、非常に不安定な立場に置かれているのが、駅伝練習をしている選手達の状況です。でも、彼らは大会があることを信じて、大会があった場合を想定して練習を続けています。彼らと同じように、私たちも、それぞれの行事に向かって最善の準備を整えていくことが大切だと思うようになりました。可能性に挑み、成果を勝ち得る学期にしたいものだと思います。

運動会（9/5）、新人戦（9/12～13）、研修旅行（9/23～25）、上級学校訪問（9/24）、文化発表会（10/21）、生徒会選挙（10/29）と、大きな行事は9月～10月に集中しています。行事の準備が並行する場面が多くなるでしょう。行事も部活動も勉強も、目の前のこと、やらなければならないことに全力で取り組み、2学期を自らの成長の学期にしていきたいと思います。

最後に、2学期から新たに「探究努力賞（仮称）」を創設したいと考えています。これは、先生方の話し合いの中からでてきたものです。授業や授業の延長で作成した論文やレポート等で「自ら学ぶ」にふさわしい優れた内容に仕上がった作品を讃えるための賞です。まだまだ選定の基準や対象など手探りの状態ですが、これからの授業や生徒の皆さんの作品などを見ながら考えていきたいと思っています（始業式では、1年生の照井想乃さんが社会の授業で作った歴史マンガをプロジェクターで投影して紹介しました）。

2学期は、何事にも全力投球で、1人1人にとって成長の学期となることを期待しています。

（2学期始業式・校長先生のお話より）

